

上方修正した公表値の達成に向け、 全社一丸となって頑張ろう

社長 CEO
沖津 雅浩



1. 2025年度冬季賞与

明後日、12月10日は賞与支給日です。今回の賞与の算定対象となる上期の業績は、アセットライト化の影響により売上高は減収となりましたが、営業利益、経常利益、最終利益の全てで大幅増益を確保することができました。

セグメント別に見ると、スマートライフでは、競争環境の激化やASEANでの冷夏など、想定を大きく上回る環境変化がありました。その中でも、高付加価値化やコストダウン、経費削減などの取り組みが進んだことに加え、テレビ事業における構造改革効果や、エネルギーソリューション事業が増益となったことなどから、全体では、売上高は減収ながらも営業利益は増益を確保しています。

スマートワークプレイスでは、パソコン事業においてWindows 10サポート終了に伴う買い替え特需の追い風が吹く中、これまでの商品力強化の成果もあり、業界の伸長以上に販売が拡大しました。加えて、米国関税への対応を各事業でしっかりと行い、全体として増収増益を実現しています。

この結果、ブランド事業全体では、売上高は若干の減収となったものの、営業利益は約1.5倍の大幅増益となりました。ディスプレイデバイス事業についても、構造改革が進展し、減収ながら赤字幅は着実に縮小しています。

このような結果をもとに算出した今上期の業績評価は、「シャープグループ全体」での評価が基準ランク(標準)を2ランク上回る高い水準となり、組織別でも半数が基準ランク以上となりました。これにより今回の賞与は、皆さんの頑張りがしっかりと反映された内容となっています。改めまして、この半年間の皆さんの努力に心より感謝します。本当にありがとうございました。

2. 年間公表値について

先日の第2四半期決算では、上期の実績を踏まえ、今年度2度目となる通期業績予想の上方修正を行いました。詳細は発表資料を確認いただきたいと思いますが、年間では営業利益が期初予想の2.25倍、最終利益が5.3倍となる見通しであり、期初の減益予想から一転、全ての利益項目で前年に対して増益の予想です。

一方、下期については、上期の業績を大きく押し上げたパソコンの特需が減速するのに加え、国内外問わず中国企業との競争が激化、さらにはメモリー価格の高騰によるコスト上昇などにより、上期と比べて大幅減益となる見通しです。加えて、足元では為替が再びドル円155円を超える水準で推移しており、さらなる逆風となっています。

今後はこうした厳しい環境が当面続くとの認識のもとで、来年度のさらなる増益、そして、2027年度の営業利益800億円の達成に向けて歩みを進めていく必要があり、その発射台となる今下期の業績が極めて重要になります。また、昨年以降、当社は掲げた目標を着実に達成し、金融機関や投資家をはじめとする様々なステークホルダーからの信頼回復に繋げてきました。こうした観点からも、今回修正した公表値は必ずやり遂げなければなりません。

年度末まで残り4カ月、様々な逆風が吹く中ではありますが、引き続き環境変化を機敏に察知し、全社一丸となって迅速に対応することで、何としても修正公表値を達成しましょう。そしてその時は、創出した利益を次回の賞与原資にしっかりと上乗せし、従業員の皆さんに還元します。来春、共にその喜びを分かち合いましょう。

3. コーポレートブランディングの強化

9月10日に新たなコーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を制定してから約3カ月が経過しました。この間、9月の世界陸上を皮切りに、テレビCMや音声広告を展開しており、既にご覧になった方や耳にされた方もいらっしゃると思います。

現在推進中の各浸透施策は、社員の皆さん一人ひとりが発信者になることも視野に入れ、各事業所の所在地や皆さんの通勤での接点も意識しつつ進めています。今後、年末年始にかけて取り組みを強化していきますので、日頃の会話の中でスローガンが話題になった際は、その意味や思いを自分の言葉でしっかりと伝えていただきたいと思います。

また、先日、11月25日には、海外向けのコーポレートスローガン「In step with your future.」を制定しました。今後は日本と並行して、海外でもスローガンの浸透に取り組む考えです。

他方、今回制定したコーポレートスローガンは、当社とステークホルダーの皆様との「約束」であり、今後、このスローガンを体現した商品やサービスを次々と生み出し、この「約束」を果たしていくことが、お客様の信頼の獲得、つまり、シャープブランドの向上に繋がります。

そして、そのために私たち社員一人ひとりが為すべきことを示した指針が「Our Mission」、「誠意をもって人々の日常を見つめ、創意をもって新たな体験を提案する」です。スローガン制定に合わせて作成したSHARP BRAND BOOKや、先日ブランド戦略推進部が実施した勉強会では、こうした体系などについてわかりやすく解説しています。ぜひこれらを活用し、それぞれの背景や込められた思いを正しく理解したうえで、自分事として捉え、日々の業務に活かしてください。

加えて、既に公表の通り、12月16日付でブランド戦略本部を新設します。今後はこの本部が中心となってコーポレートブランディングを一層強化し、スローガンや理念を企業活動のあらゆる場面に浸透させていきます。これからも社員全員の力でシャープブランドをより一層磨き上げていきましょう。

また、同じく12月16日付で、本社CDO傘下にAIサーバー事業推進センターを新設しました。現在、AIサーバーで大きな市場シェアを持つ鴻海と連携し、この領域で新たな事業展開の検討を進めており、今後、具体化に向けた取り組みを一層加速してきます。

最後になりますが、今年も残すところ約3週間です。最後まで全力で駆け抜け、良い形で一年を締めくくりましょう。そして、新たな年へと繋げていきましょう！